

1. 会 議 概 要

概 要

- (1) 会議名称 第12回環日本海環境協力会議
The Twelfth Northeast Asian Conference on Environmental Cooperation
- (2) 日 程 平成15年11月24日(月・祝)～26日(水)
24日(月・祝) 公開シンポジウム・セッション1
25日(火) セッション2・セッション3
26日(水) エクスカーション
- (3) 場 所 名鉄トヤマホテル
〒930-0004 富山市桜橋通り2-28
TEL 076-431-2211(代) FAX 076-441-0867
- (4) 主 催 環境省、富山県、富山市、財団法人環日本海環境協力センター
- (5) 参加者 各日60名程度 総数78名

海外参加者 (16)	中国 (4)、モンゴル (2)、韓国 (8)、ロシア (2)	
国際機関 (1)	UNEP/ROAP (1)	
日 本 (17)	環境省 (4)	地球環境局長、審議官、環境協力室長、廃棄物・リサイクル対策部
	発表者等 (10)	シンポジウム記念講演、コーディネーター、パネリスト (4) 11/24セッション1発表者：(3) 11/25セッション2発表者：(2) 11/25セッション3発表者：(1)
	富山県、市、NPEC	知事、市長、理事長 (3)
事務局 (27)	環境省地球環境局環境協力室 (3)	
	富山県環境政策課 (6)	
	富山市環境政策課 (4)	
	財団法人環日本海環境協力センター (NPEC) (7) 通訳含 社) 海外環境協力センター (OECC) (7) 通訳含	
オブザーバー (16)	富山県	助役 他 (7)
	富山市	助役 他 (7)
	NPEC	(2)

- (6) 議 題
- ① 公開シンポジウム：「黄砂を取り巻く各国の現状」
 - ② 各国代表者による基調講演
各国における過去一年の環境行政のトピックス及び将来の新たな取組について。各国代表が基調講演を行う。
 - ③ 分科会
セッション1：海洋環境の保全
セッション2：循環型社会の形成
セッション3：地方公共団体を中心とした北東アジア地域の環境協力

会議日程及び議題

(1) 公開シンポジウム

テーマ：「黄砂を取り巻く各国の現状」（一般公開）

11月24日(月・祝)

09:30-10:30 記念講演

講演者 岩坂泰信（名古屋大学教授）

10:40-12:30 パネルディスカッション

コーディネーター：吉川賢（岡山大学教授）

パネリスト：中国、日本、モンゴル、韓国、ロシアの代表者
国連環境計画アジア・太平洋地域事務所（UNEP/ROAP）
の代表者

（日本パネリスト）

岩坂泰信（名古屋大学教授）

鳥山成一（富山県環境科学センター課長）

西川雅高（国立環境研究所
環境分析化学研究室長）

9:30～ 9:45	開会挨拶 環境省 富山県知事 富山市長
9:45～10:30	記念講演 講演者 岩坂泰信名古屋大学教授 演題 「タクラマカン砂漠上空の黄砂：黄砂の東アジアにおける環境影響を 考える」
10:30～10:40	ブレイク
10:40～12:30	パネルディスカッション コーディネーター：吉川賢（岡山大学教授） パネリスト 中 国： Ms. JING Xin 日 本： 岩坂泰信（名古屋大学教授） 鳥山成一（富山県環境科学センター課長） 西川雅高（国立環境研究所 環境分析化学研究室長） モンゴル： Mr. GANPUREV Dugarjav 韓 国： Dr. CHU Jang-Min ロシ ア： Ms. PETROVA Tatyana UNEP/ROAP： Mr. KONDA Choei（今田長英氏）

(2) NEAC セッション

11月24日(月・祝)

14:00-15:30 各国基調講演:中国、日本、モンゴル、韓国及びロシア

16:00-18:00 セッション1: 海洋環境の保全

<p>14:00~15:30</p>	<p>各国基調講演</p> <p>各国における過去1年の環境行政のトピックス及び将来の新たな取組について、各国代表が基調講演を行う。</p> <p>各国代表</p> <p>中国 : Mr. Xu Qinghua</p> <p>日本 : 竹本和彦 (環境省大臣官房審議官)</p> <p>モンゴル: Mr. GANPUREV Dugarjav</p> <p>韓国 : Mr. KIM Ji-Tae</p> <p>ロシア: Mr. TVERITINOV Sergey</p> <p>UNEP/ROAP: Mr. KONDA Choei (今田長英氏)</p>
<p>15:30~16:00</p>	<p>コーヒーブレイク</p>
<p>16:00~18:00</p> <p>議題①、②とも同じ</p> <p>発表 10分</p> <p>質疑応答 5分</p> <p>(ブレイク 10分間)</p> <p>ディスカッション</p>	<p>セッション1:【海洋環境の保全】</p> <p>各国発表</p> <p>中国 : Ms. JING Xin</p> <p>日本 : 国際エメックスセンター石川潤一郎課長, 北村竜介研究員</p> <p>日本 : NPEC 鷹尾信一主任研究員</p> <p>モンゴル : Mr. GANPUREV Dugarjav</p> <p>韓国 : Mr. Kwan Sok-Chang</p> <p>ロシア : Mr. TVERITINOV Sergey</p> <p>議題① 閉鎖性水域における環境管理について (モンゴルの場合は湖沼、それ以外の国は海洋)</p> <p>内湾、内海など外部との水の交換が行われにくい沿岸域は、豊かな自然環境に恵まれる一方で、汚濁物質が蓄積し易く、汚染が進みやすい条件下にある。そのような水域においての環境管理のあり方を、各国の事例を踏まえて議論を行う。</p> <p>議題② 浜辺の身近な指標から見る沿岸域における環境保全</p> <p>浜辺の身近な生物や、漂着ゴミなど市民が手軽に扱うことができる身近な指標から、広大な海洋環境の保全について考える手法について、各国の事例を踏まえて議論を行う。</p>

11月25日(火)

09:00-11:10 セッション2：循環型社会の形成

11:40-13:40 セッション3：地方公共団体を中心とした北東アジア地域の環境協力

16:00-17:30 その他検討事項、議長総括採択

17:30-18:00 記者発表

<p>9:00～11:10 議題①、②とも 同じ 発表 10分 質疑応答 10分 (ブレイク 10分間) ディスカッション</p>	<p>セッション2：【循環型社会の形成】 各国発表 中国： Dr. REN Yong 日本： 野村 潤課長（富山市環境部環境政策課） 日本： 和田英二社長（西日本オートリサイクル（株）） モンゴドル： Mr. GANPUREV Dugarjac 韓国： Mr. LEEYoung-Seok ロシア： Ms. PETROVA Tatyana</p> <hr/> <p>議題① 地域が取り組む循環型社会の実現 地域が取り組むリサイクル社会の形成について、各国からの事例紹介と議論。</p> <p>議題② 企業が取り組む循環型社会の実現 産業（工業、農業、商業など）分野で企業が取り組むリサイクルの現状について、各国からの事例紹介と議論。</p>
<p>11:10～11:40</p>	<p>コーヒーブレイク</p>
<p>11:40～13:40 発表 10分 質疑応答 10分 ディスカッション</p>	<p>セッション3：【地方公共団体を中心とした北東アジア地域の環境協力】 議題 これまでの具体的な取組、特に市民の関心度を高めるための工夫 自治体の国際協力の中でも、特に地域住民の関心度を高めるために種々の工夫を行っている事例について、各国からの報告と議論を行う。</p> <p>各国発表 中国： Dr. REN Yong 日本： 藤原周治課長（財）ひょうご環境創造協会循環社会推進課） モンゴドル： Mr. GANPUREV Dugarjac 韓国： Mr. KIM Woon-Soo ロシア： Ms. PETROVA Tatyana</p>
<p>13:40～16:00</p>	<p>昼食、事務局：議長サマリーメモ作成</p>
<p>16:00～16:30</p>	<p>次回開催地、その他事項</p>
<p>16:30～17:00</p>	<p>議長サマリー採択</p>
<p>17:00～17:30</p>	<p>閉会、各国コメント</p>
<p>17:30～18:00</p>	<p>記者発表</p>

(3) エクスカーション

11月26日(水)

10:00-12:20 富山市エコタウン視察

10:00～10:45	富山市エコタウン(株)プリティック 視察
10:45～11:30	富山市エコタウン(株)グリーンフードリサイクル 視察
11:40～12:20	北前船回船問屋森家 見学